

参考資料2

厚生労働科学研究費補助金 慢性の痛み対策研究事業
「難治性神経因性疼痛の基礎疾患の解明と
診断・治療精度を向上させるための研究」
子宮頸がんワクチン副反応部会報告
平成25年度12月25日



SHINSHU
UNIVERSITY

子宮頸がんワクチンの副反応

信州大学脳神経内科、リウマチ・膠原病内科

池田修一



本研究班メンバーが診察した患者数

北海道大学整形外科	0例
信州大学神経内科、リウマチ・膠原病内科	32例
名古屋大学手の外科	4例
愛媛大学ペインクリニック	2例
(関節炎、注射後急性局所反応)	
同 神経内科	1例
(好酸球性筋膜炎)	
山口大学神経内科	2例
(関節炎、頭痛・左上肢のしびれ)	
鹿児島大学神経内科	8例

合計 49例

信州大学を受診した32名の要約

年齢: 12~19歳 平均: 15.7 ± 1.8歳

初回接種年齢平均: 13.8 ± 1.6歳

接種ワクチン: サーバリックス 24名、 ガーダシル 8名

初回接種から症状出現までの期間: 23.03 ± 8.33ヶ月

ワクチンの関連ではない疾患と診断した例: 4名

2例: 全身性エリテマトーデス (SLE)

1例: 麻疹ワクチン接種後小脳炎疑い

1例: 統合失調症疑い



子宮頸がんワクチンの副作用が否定できない28名で
症状の詳細を検討

28名の症状の詳細

副反応の種類(重複あり):

頭痛 21名(75%)

全身倦怠感 16名(57%)

筋力低下 14名(50%)

手足の疼痛 14名(50%)

歩行困難 13名(46%)

睡眠障害 13名(46%)

四肢筋力にすぐわぬ奇異な歩行障害 5名

下肢冷感 13名(46%)

嘔気 13名(46%)

起立性調節障害 12名(43%) 学習障害 12名(43%)

不随意運動 12名(43%)

関節痛 10名(36%)

めまい 10名(36%)

月経異常 8名(29%)

28例中11例で以下の確定診断

- 関節炎 2例
 - 筋膜炎 2例
 - 複合性局所疼痛症候群 1例
(CRPS) 厚生労働省CRPS研究班の診断基準
 - 起立性調節障害 6例
 - ┌ 起立性低血圧 3例
 - └ 体位性頻脈症候群 3例
-

高度な頭痛・全身倦怠感の成因は？

19歳 女性

子宮頸がんワクチン接種



通信制の高校へ転校

リズミック® 15mg/day



頭痛

センター試験に向けて
順調に勉強をしている



2011年
8月

2013年
8月

9月

10月

11月

7 12月

【起立試験・血漿ノルアドレナリン測定】

対象：14例

- ・起立性低血圧： 3例
- ・体位性頻脈症候群：3例

起立負荷で血漿ノルアドレナリン値の増加率は
正常では立位で60%以上となる

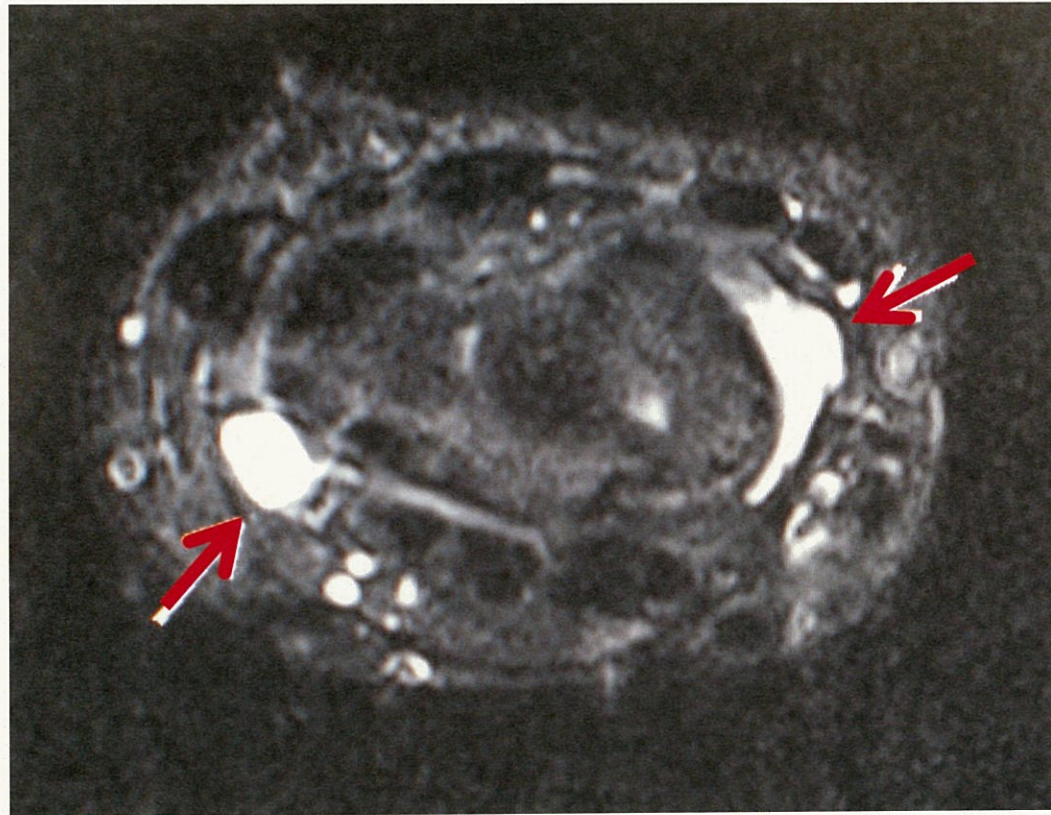
- ・増加率が低いのは9例(64%)

四肢の疼痛・歩行障害の成因は？

反応性関節炎

左肩へのワクチン接種後、右手関節の痛みを訴えた例

手首のMRI



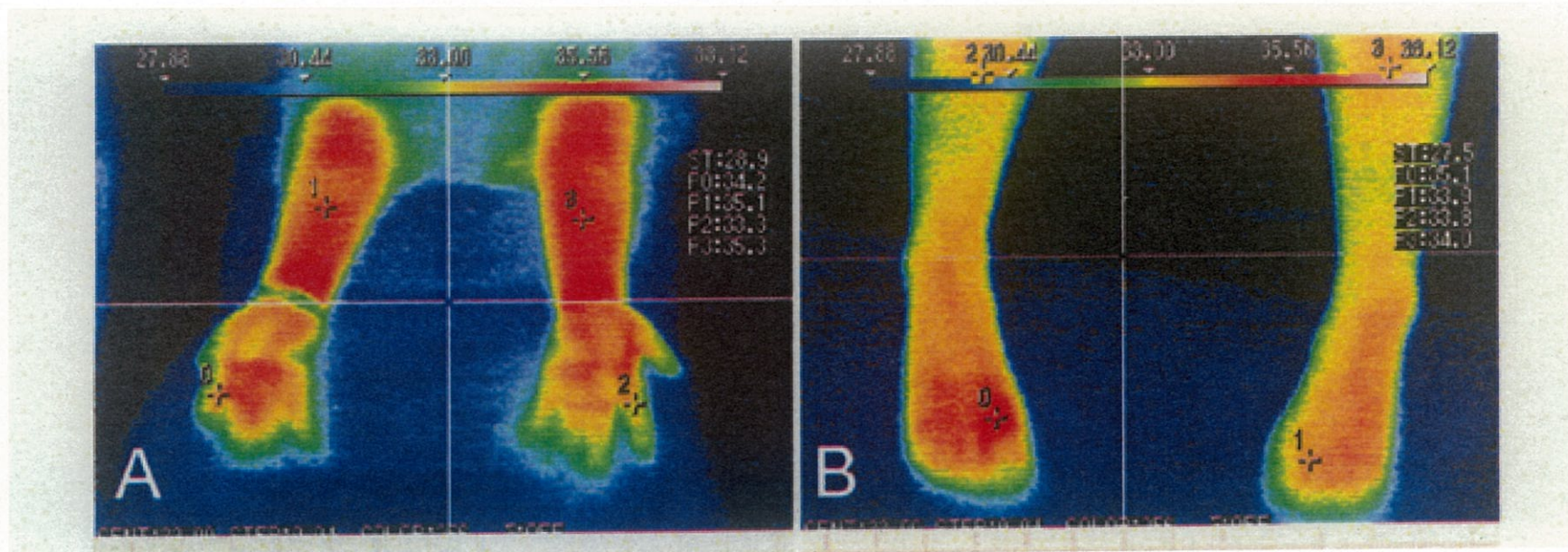
関節液の貯留 → 関節炎
症状は数日で自然軽快

CRPS類似例

15歳 女性

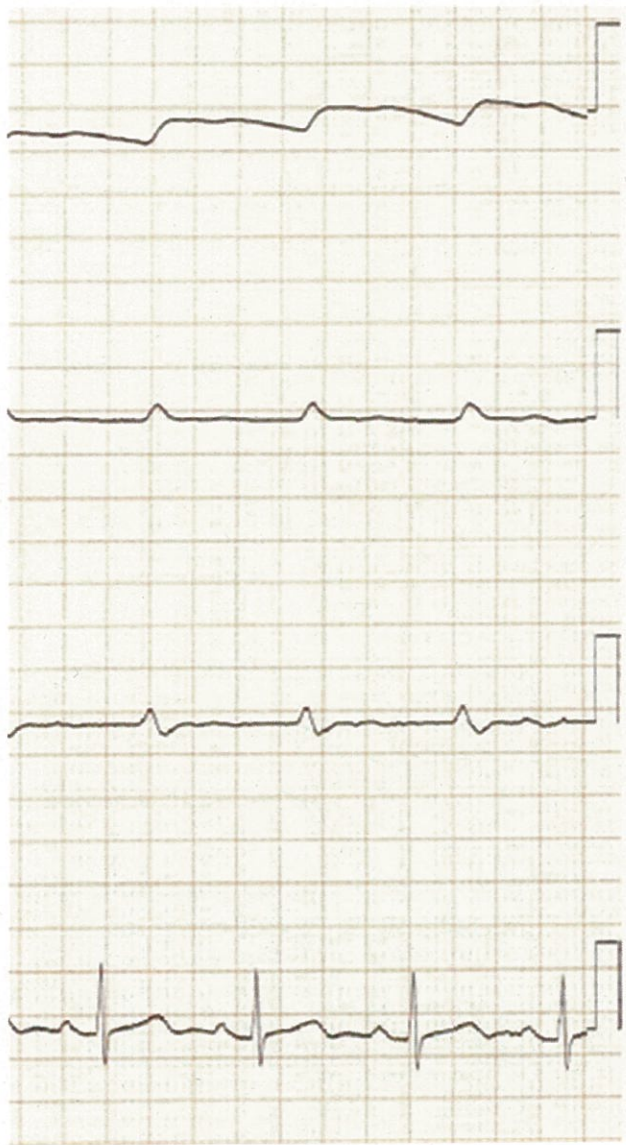
13歳時にワクチン接種

約1年前より頭痛、めまい、手足の痛みと振えのため歩行困難、不登校となる



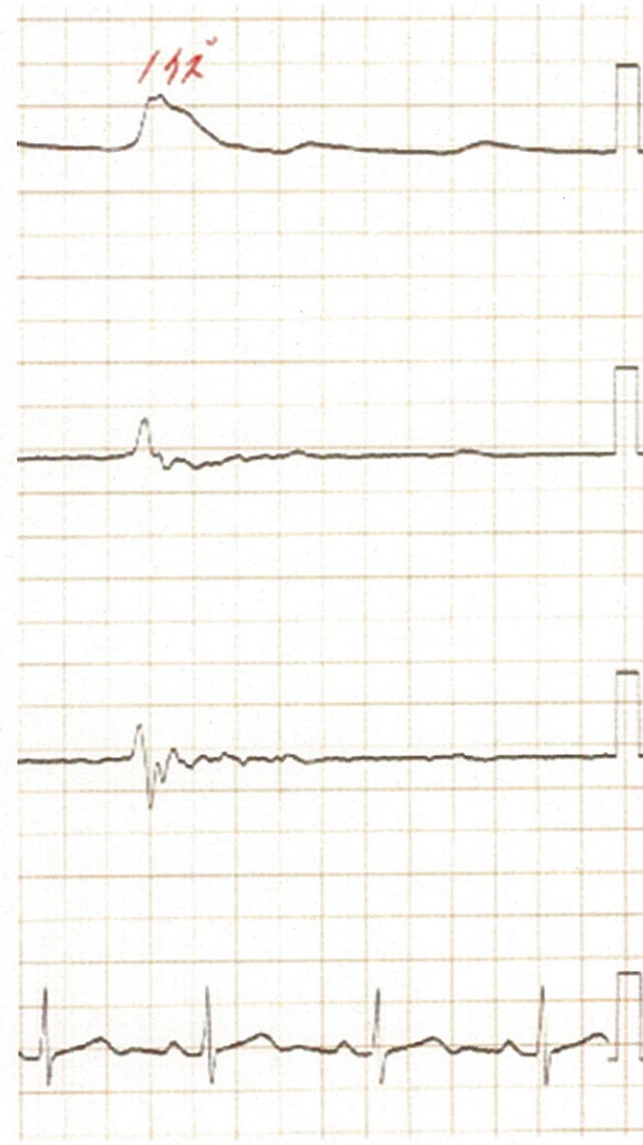
指尖容積脈波

皮膚温
28.4°C



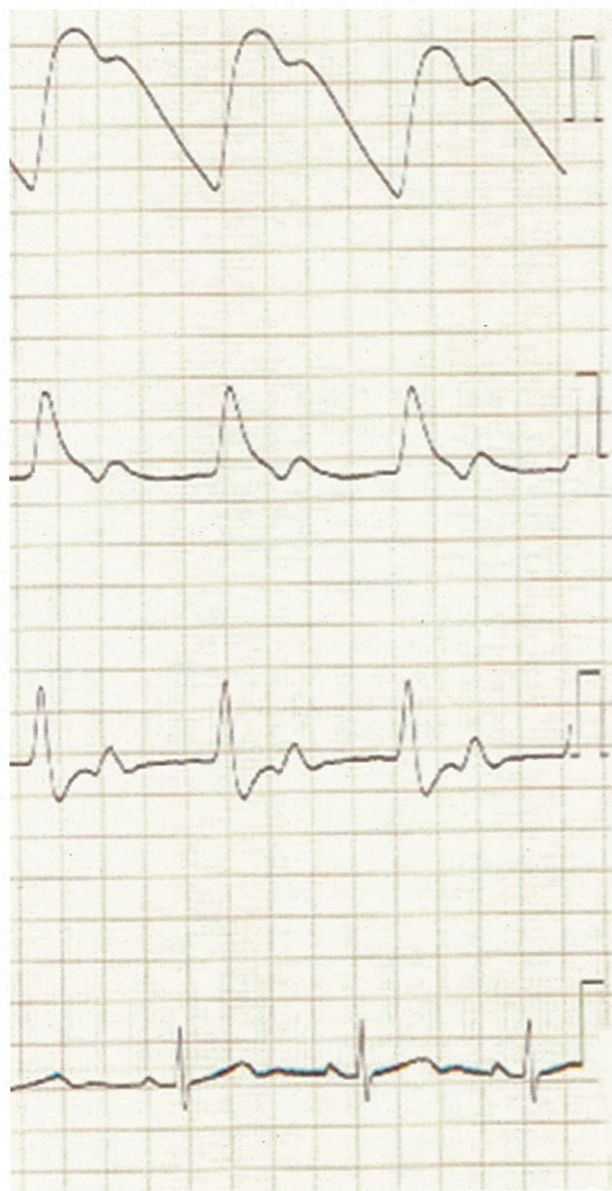
手の第2指

皮膚温
22.2°C



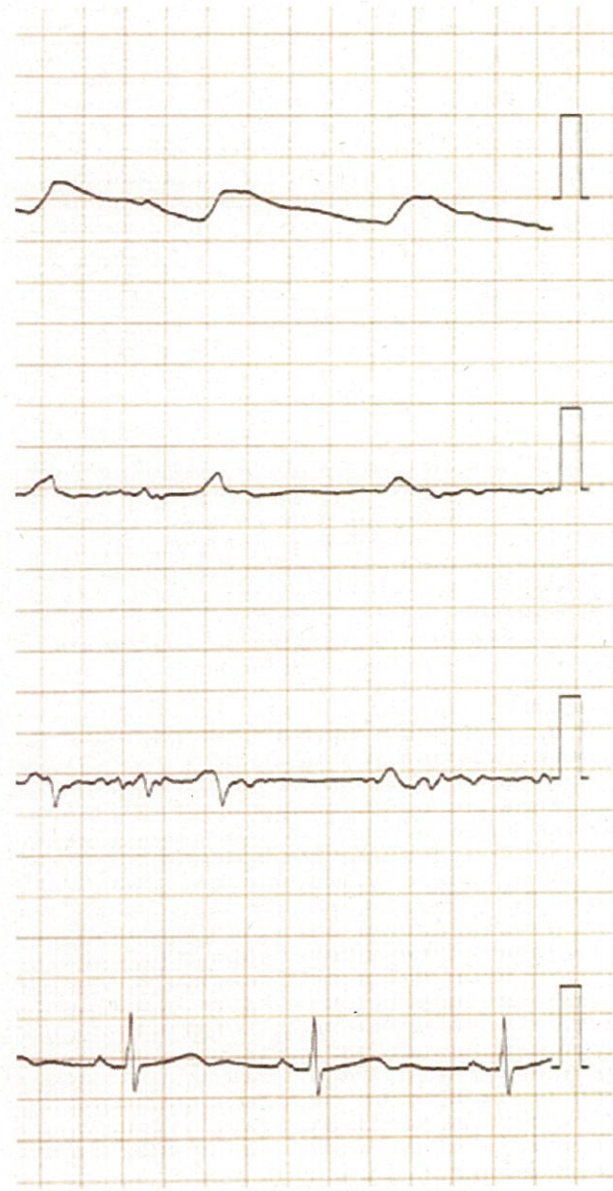
足拇指

指尖容積脈波 (PGE1 点滴後)



皮膚温
31.8°C

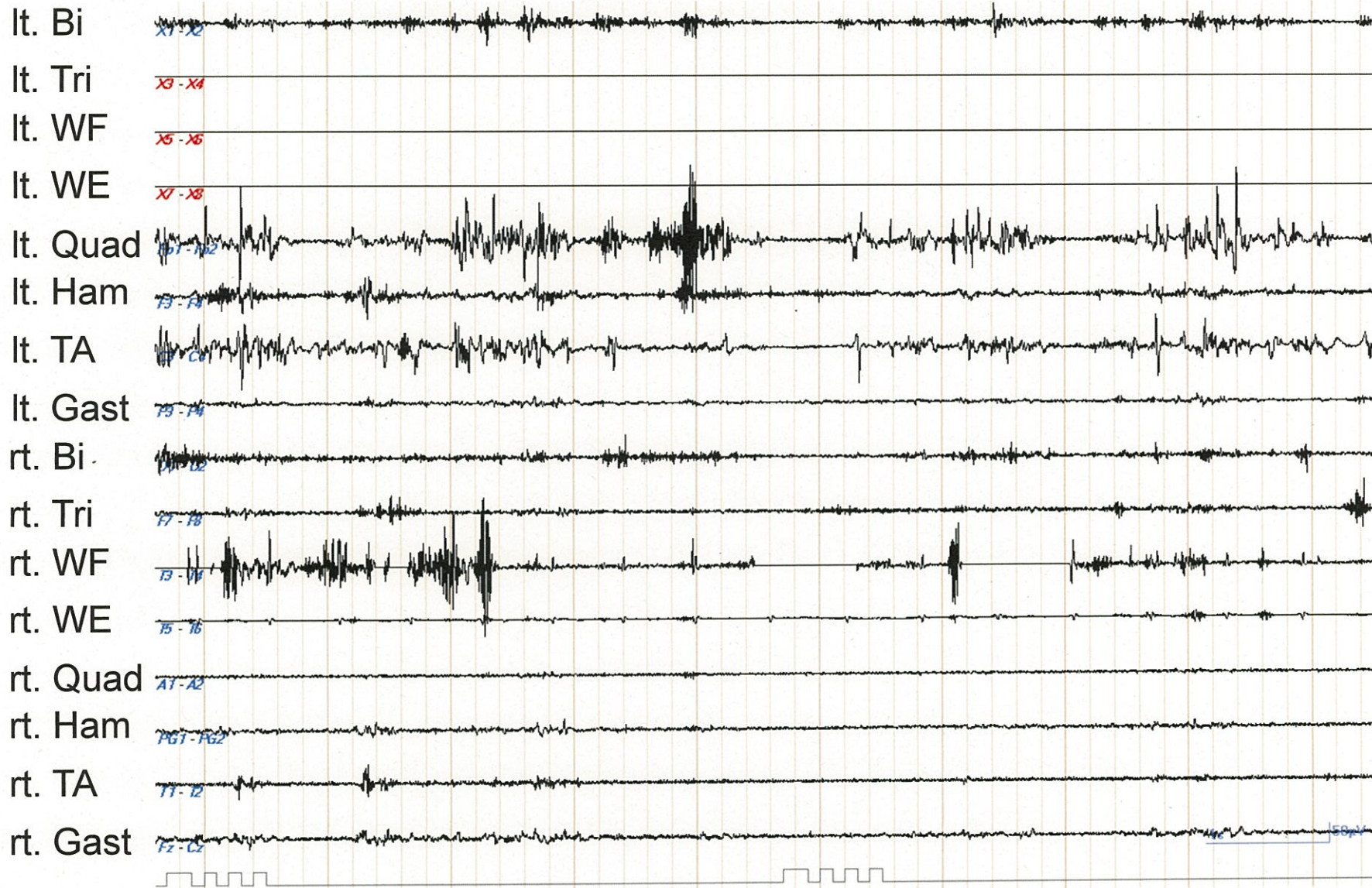
手の第2指



皮膚温
29.5°C

足拇指

表面筋電図



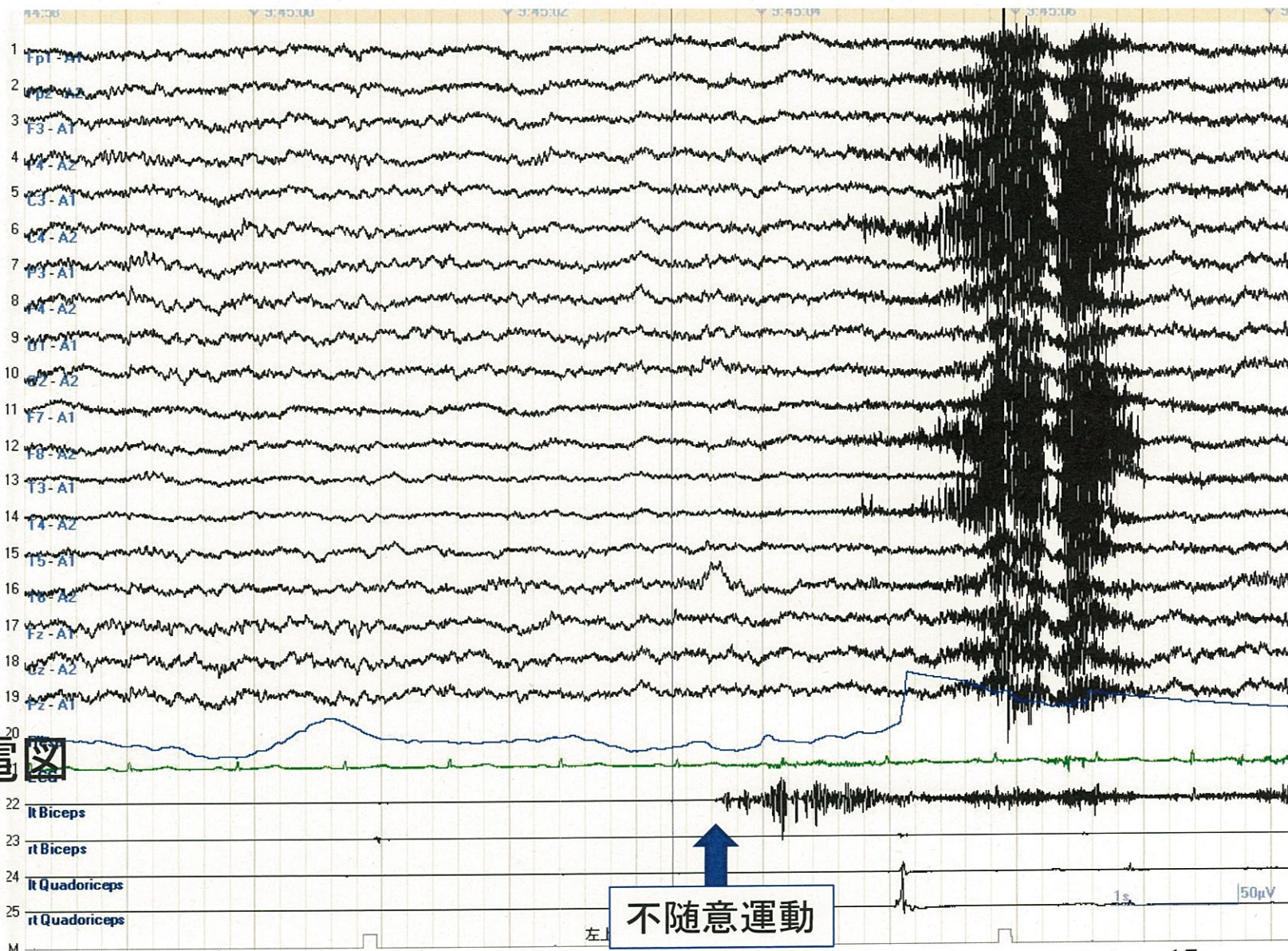
ミオクローヌス様の不随意運動に一致して短い群化放電がバラバラに出現。16筋収縮のパターンは一致せず、その都度異なる。

脳波・表面筋電図同時測定

脳波

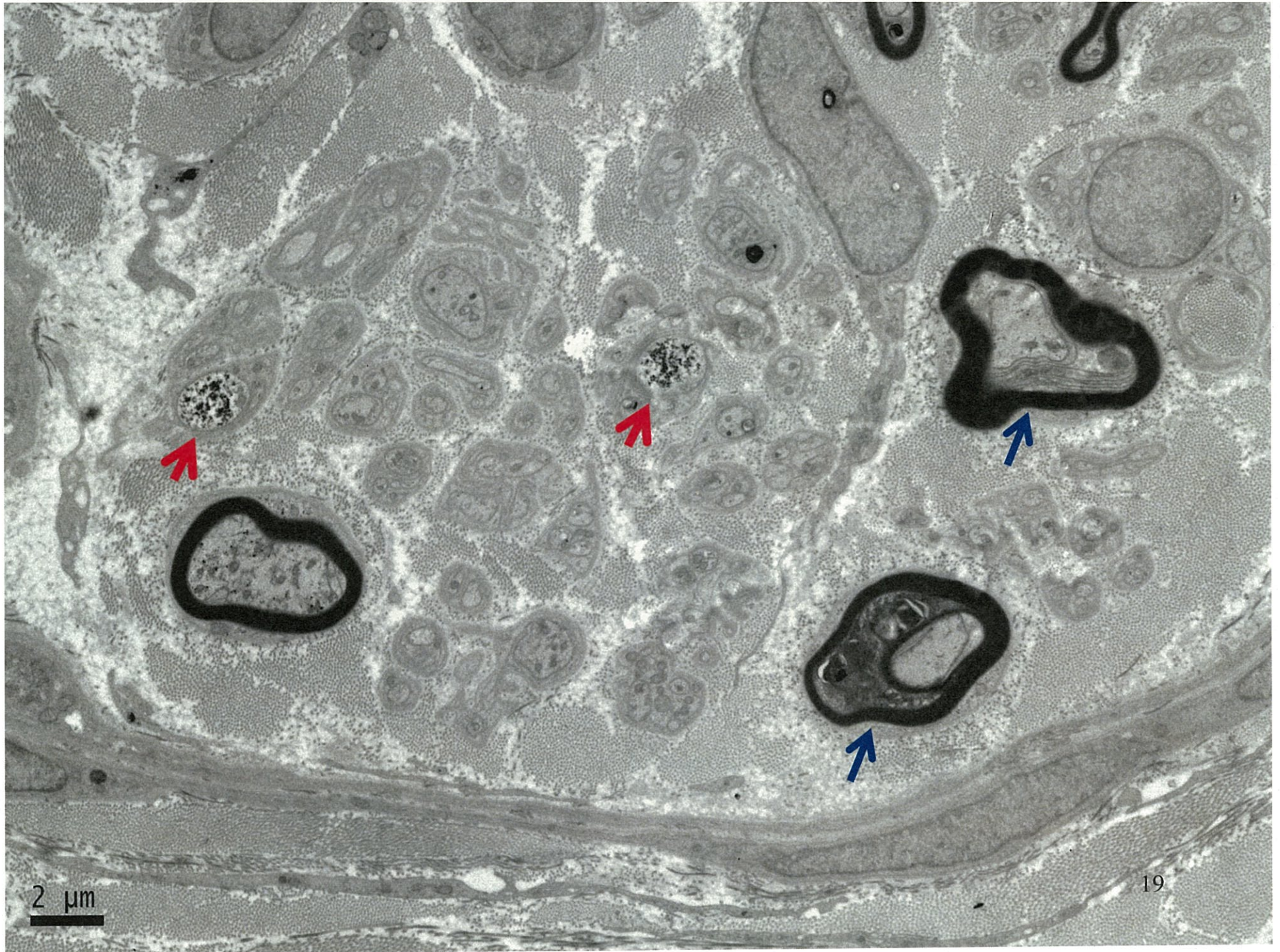
表面筋電図

lt. Bi
rt. Bi
lt. Quad
rt. Quad

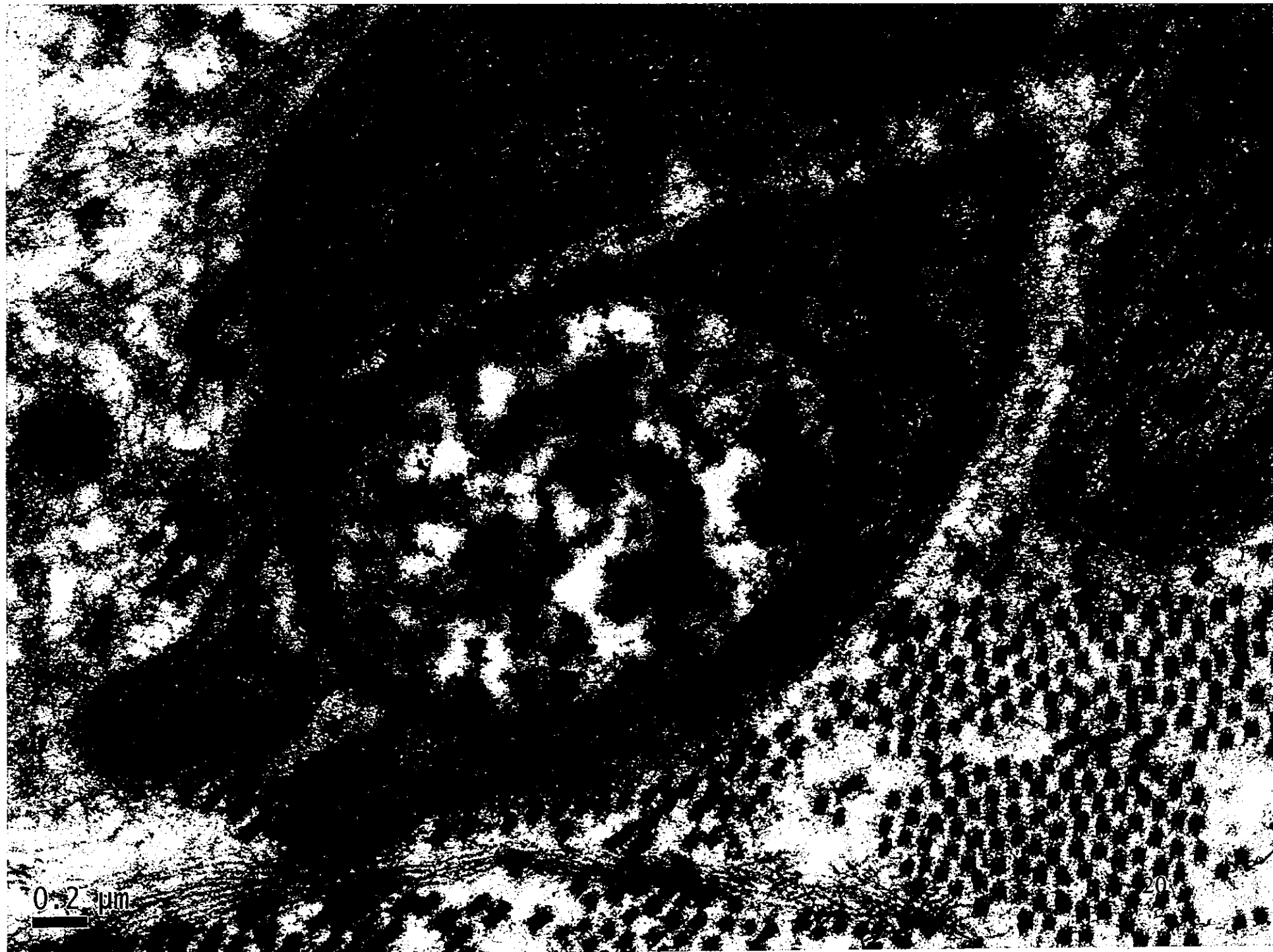


不随意運動出現時にも脳波異常認めず





2 μm



自律神経障害の検索

【皮膚温測定】

対象：13例

第2指： $30.1 \pm 2.3^{\circ}\text{C}$

第1趾： $27.7 \pm 3.2^{\circ}\text{C}$

【指尖容積脈波】

対象：13例

第2指：は8例

第1趾は12例

で波高が減っていた

検索した14例中、CRPSの診断基準を
満たしたのは1例のみ

(CRPSを示唆する発汗異常、皮膚・骨病変を認めない)

他の13例において

手足の痛み(アロデニア)

四肢の冷感

指尖容積脈波の異常



末梢性の交感神経障害を疑う。

症状発現への心理的影響をどう考えるか

ワクチン接種後、局所の高度な疼痛



四肢の関節炎、筋膜炎、自律神経障害
(数週から数ヶ月後)

適切な診断・治療がなされず、不安が残る



生活状況の大きく変化

(受験、高校生活のストレス)

四肢の疼痛が引き金となるパニック障害
身体表現化現症

子宮頸がんワクチンの副反応

現時点でどのように考えられるか？

1. 関節炎、筋膜炎：

ワクチンが誘因となりうる、頻度は低い、
短期間で自然治癒しうる。

2. 起立性調節障害

この年代で頻度が高い病態、ワクチンが誘因となりうるか不明。
(偶発合併？)

3. 手足の難治性疼痛

CRPSに近い慢性疼痛の病態。

末梢性交感神経機能の異常が関与している

ワクチンとの因果関係は不明。

4. 無月経を含む生理不順

成因もワクチンとの因果関係も不明、更なる調査が必要。

治療反応性

高度な歩行障害

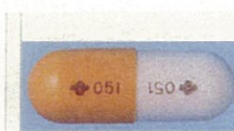
PGE1の点滴で5名中3名が改善

関節炎、筋膜炎

各2例中、1例づつが自然軽快

起立性調節障害に伴う頭痛・全身倦怠感

薬物療法で6名中3名が改善



CRPS様症状を呈する14名、経過観察中
末梢性交感神経障害ならば改善するはず



松本空港

佐賀県からの患者の受け入れ

福岡空港から飛行機で松本へ
松本空港からドクターカーで病院へ
多彩な病態への対応に担当医は
連日、四苦八苦している



信大病院